

広島市平和記念公園レストハウス

リニューアルOPEN



平和記念公園レストハウスは、平和記念公園内で被爆前の旧中島地区の面影を残す唯一の建物です。その歴史的特性を生かし、被爆の実相を伝え、平和への思いを共有する場となるよう保存・活用を図るとともに、公園内での「おもてなし」を向上させるための改修を行いました。

被爆建物としての歴史を受け継ぎながら建設当時の外観を再現するなど、装いを新たに2020年7月リニューアルオープンしました。

広島市平和記念公園レストハウス

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1番1号(広島平和記念公園内)

事務局: TEL082-546-9133 観光案内: TEL082-247-6738

開館時間 8:30~18:00(3月~11月)

(8月/8:30~19:00(8月5日は20:00まで))
8月6日/7:30~20:00

※レストハウスショップ、ピアノカフェの営業時間は異なります。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://hiroshima-resthouse.jp>



広島市平和記念公園レストハウス

【建物の歴史】

現在のレストハウスは1929(昭和4)年、建築家・増田清氏の設計で大正屋呉服店として建設されました。1階のアーチ窓や2・3階の縦長の窓が連続して並ぶ外観は、瓦屋根の商家や民家が連なった当時の町並みからすると、とても斬新でした。1944(昭和19)年、広島県燃料配給統制組合の本部が使用する燃料会館となりました。被爆の翌年の早い時期から修繕が始まり、再び燃料会館として使用されました。1957(昭和32)年に広島市が買収し、同年より東部復興事務所として市の東部地域の復興の拠点となりました。1982(昭和57)年にレストハウスとして再整備され、2018(平成30)年からの改修工事を経て現在に至ります。

全てのフロアで無料公衆無線LANサービス
(HIROSHIMA FREE Wi-Fi)を利用できます。

1階・2階・3階にトイレ設置

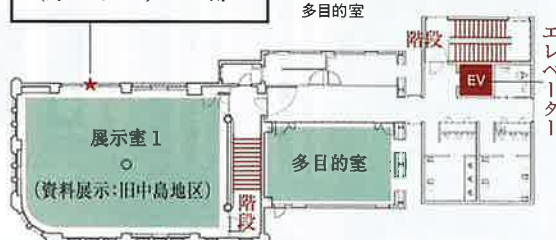
3階展示室の天井では爆風により崩落した屋根(床スラブ)、2階通路の天井では爆風により損傷した梁、1階通路の天井では被爆による火災の跡を見ることができます。

3階



- 展示室では「中島地区の成り立ちと歴史」「被爆前の中島地区のにぎわい」「建物の歴史」「未来への発信・継承」の4つの展示コーナーを設け、中島地区の移り変わりやレストハウスの歴史を振り返る写真などを展示しています。

爆風により崩落した屋根(床スラブ)の一部



2階

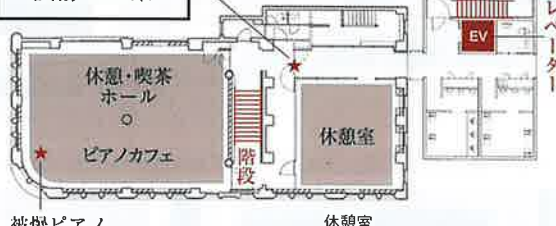


明子さんの被爆ピアノ



休憩・喫茶ホールとピアノカフェ

爆風により損傷した梁



被爆ピアノ



- 休憩・喫茶ホールでは軽飲食をお楽しみいただけます。オリジナルブレンドコーヒー、スイーツもご用意しています。
- 明子さんの被爆ピアノも展示しています。

1階



- 観光案内所ではピースツアーをはじめとする体験プログラムなどをご用意。
- レストハウスショップでは広島県内特産品やお土産を販売しています。



オリジナルトートバッグ

被爆による火災で焼けた天井



出入口

地下



- 建物内で唯一の生存者であった野村英三氏の手記や被爆当時の様子を描いた絵、被爆直後の燃料会館の写真などを展示しています。
- 見学施設としての環境を整えるため、新たに床を設置し、室内の段差をなくしています。(部分的に当時の床面を見ることができます)

地下へは、エレベーターとその隣の階段をご利用ください

